

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和4年11月24日(2022.11.24)

【公開番号】特開2022-130207(P2022-130207A)

【公開日】令和4年9月6日(2022.9.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-164

【出願番号】特願2021-29261(P2021-29261)

【国際特許分類】

C 0 4 B 3 8 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 4 B 3 5 / 1 9 5 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 1 J 3 5 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 1 J 3 5 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 1 D 3 9 / 2 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 1 D 4 6 / 0 0 (2 0 2 2 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 4 B 3 8 / 0 6 D

C 0 4 B 3 5 / 1 9 5

B 0 1 J 3 5 / 0 4 3 0 1 P

B 0 1 J 3 5 / 0 4 3 0 1 K

B 0 1 J 3 5 / 1 0 3 0 1 F

B 0 1 J 3 5 / 0 4 3 0 1 M

B 0 1 D 3 9 / 2 0 D

B 0 1 D 4 6 / 0 0 3 0 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月15日(2022.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

更に、多孔質隔壁は、水銀圧入法により測定される体積基準の累積細孔径分布において、小細孔側からの累積10%細孔径(D10)、累積50%細孔径(D50)及び累積90%細孔径(D90)が、 $1.3 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが好ましく、 $1.5 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことがより好ましく、 $1.7 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが更により好ましく、 $1.9 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが更により好ましく、 $2.1 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが最も好ましい。 $(D90 - D10) / D50$ に上限は特に設定されないが、 $(D90 - D10) / D50 \leq 2.8$ を満たすことが一般的であり、 $(D90 - D10) / D50 \leq 2.6$ を満たすことが典型的であり、 $(D90 - D10) / D50 \leq 2.4$ を満たすことがより典型的である。水銀圧入法はJIS R1655:2003に規定されている。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

50

更に、有機造孔材は、レーザー回折・散乱法により測定される体積基準の累積粒度分布において、小粒子側からの累積10%粒子径(D10)、累積50%粒子径(D50)及び累積90%粒子径(D90)が、 $0.75 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが好ましく、 $0.78 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことがより好ましく、 $0.80 \leq (D90 - D10) / D50$ の関係を満たすことが更により好ましい。(D90 - D10) / D50に上限は特に設定されないが、 $(D90 - D10) / D50 \leq 1.50$ を満たすことが一般的であり、 $(D90 - D10) / D50 \leq 1.45$ を満たすことが典型的であり、 $(D90 - D10) / D50 \leq 1.40$ を満たすことがより典型的である。

10

20

30

40

50